

委員会活動から

有資格者増強委員会(北海道技術士センター)

【第二次試験受験対策(20部門・総合技術監理部門)講習会(6月3日開催)】

【第一次試験対策講習会(6月24日開催)】

当委員会の主行事である技術士試験対策講習会として、第二次試験20部門および総合技術監理部門の講習会を6月3日(土)～建設会館、第一次試験は6月24日(土)～建設会館でそれぞれ実施いたしました。

また、技術士第二次試験の総合技術監理部門を除く20部門に関する経験問題の添削指導を4月1日～7月下旬迄、約4ヶ月実施いたしました。以下にはこれらの概要について報告いたします。

1. 技術士第二次試験対策の概要報告

(1) 20部門の受験対策講習会

本年1月末に発表された日本技術士会ホームページによると、次年度から試験実施要領が変更となり、H15年度から3年間実施された現行試験方法は、今年度が最後の運用となりました。そのため、当初は2年ぶりの講習会再開により、予定の受講者数が確保できるか懸念が持たれましたが、総数81名の参加をいただき、無事開催することができました。受講参加を呼び掛けていただいた関係各位には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

講習会当日は、13名の増強委員に加え6名の技術士の協力を得て、午前中は「技術士制度の説明、経験論文の書き方・テーマの選び方」に続き、各部門の「一般問題の傾向と対策」についての講習を行いました。

午後からは「建設部門で7分野」「農業部門」応理学部門「上下水道部門」「情報工学部門」の5部門における専門問題の受験対策についての説明を実施いたしました。この講習会で使用したテキストは、各講師の貴重な経験をもとに早くから準備して作成したものです。最新の情報を取り込み、分かりやすく書かれており、受講者からは非常に好評でした。

講習は朝の9時から5時までの終日でしたが、今

年度が現行試験方法の最後の運用ということもあり、皆さん例年になく真剣に講師の説明を聴講する姿が見受けられました。

経験問題の添削指導については、全部で67編実施し、例年になく多く(昨年度は25編)の申し込みがありました。なかには2、3回添削を受けた方もおり、こうした努力が11月初めの筆記合発表に現れるものと期待しております。

(2) 総合技術監理部門の講習会

総合技術監理部門の講習会は、今年度で4回目を迎え例年並みの22名の参加がありました。講習会では、当委員会メンバーの中から昨年度合格者を含めた2名の講師により、「合格の体験談」「勉強の進め方」「口答試験対策」等について、幅広い観点からの講習を行いました。

総合技術監理部門における記述式試験問題は、H13年度～H16年度で当時の社会的事件を取り上げたりリスク管理を問う一定の傾向が見られました。一方昨年度からは、受講者の経験をより掘り下げたりリスク管理について記述する、といった傾向と対策が立てずらいものとなってきました。今年度の問題もその傾向が伺えます。しかし、基本的な勉強方法は従前と変わらないものであり、本講習は今年度の受験に大いに役立つものと考えております。

(文責：黒沢 弘行)

部 門		受講者数	添削申込編数 (延べ)
20 部 門	建設部門	62	57
	農業部門	3	3
	応理部門	7	3
	上下水道部門	7	3
	情報工学部門	2	2
	計	81	68
総合技術監理部門		22	



20 部門講習会開講挨拶



総合技術監理部門講習会開講挨拶



専門分野ごとの講習：建設、鋼構造・コンクリート



総合技術監理部門、講習状況



専門分野ごとの講習：上下水道部門



総合技術監理部門、最新合格者からの経験談

2. 技術士第一次試験対策の概要報告

第一次試験の講習会は、今年度で5回目の開催となり、昨年度とほぼ同じ程度の88名の参加がありました。

技術士制度の改正により、技術士第二次試験の受験資格として、技術士第一次試験の合格が義務づけられていることは、周知のとおりですが、平成17年度における全国の技術士第一次試験の対受験者に対する合格、ないしは認定された教育課程の終了した者の率は27.5%となっており、平成16年度の同52.3%と比較し低下しています。難易度は年により異なるものの、合格基準は同様ですので、1問1問大切に点を獲得する必要があると考えます。

本講習会では、基礎・適性及び専門（建設、上下

水、農業、応用理学、環境）科目のそれぞれで、オリジナル演習問題を作成し、実践に近い内容の講習会を目指しました。

講習会終了後も、設問に対する別な視点での解答例など、いくつかの指摘や質問が寄せられ、今後の参考にさせていただきたく思っております。

講習は9:30から16:00まで、長時間に及ぶものでしたが、皆熱心に講習会を受講され、後日、受講者からお礼の言葉もいただきました。

本稿が発行される頃には、第一次試験は終了しておりますが、受講者の皆様にとって、この講習会が有意義であったことを期待し、合格を心より願っております。

(文責：中山 亮)



全体講習風景



基礎科目講習状況



専門科目（環境部門）講習状況



専門科目（農業部門）講習状況